

団体名		社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会						
① 事業	指標名	地域社協の育成に関する研修回数			目標値	市民社協職員5回 地域社協運営委員3回	実績値	市民社協職員8回 地域社協運営委員4回
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 回)	職員8・地域4	職員5・地域4	職員6・地域4				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 1. 職員 (1)東京都社会福祉協議会主催 ①「区市町村社会福祉協議会新任職員研修」(1名)、②区市町村協「地域福祉コーディネーター養成研修」<基礎編>(1名)、③<実践編>(4名)、④「地域づくりを進めるコーディネーター連絡会」(1名)、(2)東社協職員連絡会主催 ①「災害発生!!その時災害ボランティア担当でない私は」(2名)、②「我が事・丸ごとで考える社協職員の役割」(1名)、③「その情報発信ムダかも!?効果的な伝え方を学ぼう」(2名)、(3)NPO法人日本地域福祉研究所主催 ①「地域共生社会の実現に向けてー地域福祉の政策化と改革の論点ー」(2名)への参加 2. 地域社協運営委員 (1)地域社協会計研修、(2)グループワーク「明日からの1年地域社協はどう動く?」、(3)講演等「明日からの1年地域社協はどう動く?ー行動に移すきっかけづくりのためにー」、(4)地域福祉ファシリテーター養成講座 ※(2)・(3)は地域社協による実行委員会を組織。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・「地域共生社会」の実現に向け、「我が事・丸ごと」の地域福祉活動推進の理念が規定されたことに伴い、職員として必要な知識等を得るために積極的に研修等への参加を行った。記載にはないが、社協全体でこの理念を共有するため職員全体会議でも研修形式で実施し、意識共有を図った。 ・地域社協運営委員研修では、28年度に代表者連絡会で話し合った地域社協の抱える課題をカテゴリー化し、それらの解決の糸口となるようなワークショップや講演等を実施し、運動性を持たせた。							
二次評価	地域社協の支援・育成に資する研修を継続して実施できているものと評価する。東社協等による研修受講の成果を活かしながら、共助の活動の活性化につながる市民向けの研修を一層充実させていくことを期待する。							
② 財務	指標名	会費収入			目標値	4,650,000円	実績値	3,423,000円
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	73.6%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 千円)	3,890	3,760	3,551				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 1. 会員増加に向け次の取組みを行った。①七夕のつどい ②地域社協の総会、運営委員会、手話講習会等の各種事業・VCMが行う講座などで入会呼びかけ ③「市民社協だより」やホームページへの会員募集記事の掲載 2. むさしのFMにおける時報CM放送(午後1時)によるPR 3. 28年度にまとめた「会員制度改革 職員による検討報告書」に基づき次の取組みを行った。①会員に対し、会員継続の理由や入会のきっかけ等をきくアンケート実施 ②自主財源獲得とPRを目的としたバザー実施 ③認知度向上を主目的にLINEスタンプ販売の実施 ④商店会連合会等への寄付付き商品の相談 4. Facebookによる社協事業等の発信(記事投稿161件)など、若年層などSNS利用者へのPR展開						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・28年度にまとめた「会員制度改革 職員による検討報告書」に基づき、上述のような取り組みを行ったが、会費収入の増加につながるような効果は見られなかった。 ・アンケート回答者の結果から、市民社協を支える会員の年齢層が非常に高いことを改めて確認した。幅広い世代に対し、市民社協の認知度を上げるためFacebookへの投稿数を増やすことに意識して取り組んだ。 ・ファンドレイジング研修に職員が参加し、研修報告を全職員に回覧した。財源確保に関して、職員の意識を高めることにつながった。							
二次評価	これまでの取組みの効果やアンケート結果等の検証結果を踏まえ、必要な見直しを行い、引き続き会員数の拡大と財源の確保に取り組むこと。							
③ 内部	指標名	職員勤務評定制度			目標値	制度の充実	実績値	面接シートの導入
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)	継続実施	制度の充実	制度の充実				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・嘱託職員、主事、主任、係長に区分された人事評価シートにより、各区分ごとに求められる能力評価を5段階で評価した。 ・29年度の期首には、職員各自に「年度内の目標」を記載する「面接シート」を作成・提出をさせた。その内容を基に職員との業務への取り組み方等に関する意見交換、指導等を実施し、目標達成に向け1年間取り組むよう促した。期末にはその目標の達成度などの振り返りを実施した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・職員各自の「職員の業務量及び業務に関する意見・希望調査書」に基づき正規・嘱託の全職員に対し、面接を実施した。面接にあたっては、健康状態の把握と事業見直し、翌年度の業務分担等に反映できるよう課題や改善点、業務負担等を確認した。 ・「面接シート」により各職員が、1年間の業務目標を3つ立てた。目標を立てて業務に取り組むということを意識づけるきっかけとなった。							
二次評価	職員の能力向上と業務改善等の組織力向上につながるよう効果的な制度運用に努めていただきたい。							